

平成26年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	小林 昌幸
	全体計画						経費区分		経常的経費		内線	246-9000
事務事業名	4139 ごみ収集事業											
所 属	140100 環境部・生活環境課											
施 策	03011200 循環型社会の形成											
予算 科目	会計	01 一般会計										
	科目	040201 衛生費・清掃費・清掃総務費										
	事業	010000 ごみ収集事業										
事業目的						事業概要・効果						
計画的で迅速なごみの収集、運搬を正確に行うことにより、清潔で衛生的な市民生活を構築する。						市内ごみステーションに排出された可燃ごみ、不燃ごみ等について、計画的、適切な収集運搬を行う。町別粗大ごみ収集において排出された粗大ごみ、蛍光灯の収集運搬を行う。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
ごみステーション、町別粗大ごみ収集におけるごみ等の計画的で適切な収集運搬が行えた。	ごみステーション、町別粗大ごみ収集におけるごみ等の、計画的で確実な収集運搬が行えた。
平成24年度 実績	平成25年度 実績
ごみステーション、町別粗大ごみ収集におけるごみ等の、計画的で確実な収集運搬が行えた。	ごみステーション、町別粗大ごみ収集におけるごみ等の、計画的で確実な収集運搬が行えた。
平成26年度 予定	平成27年度 予定
ごみ収集業務（家庭ごみ（可燃、不燃）、資源物及び側溝清掃後の土砂）の委託とその管理を収集計画に基づき正確で確実に行う。	ごみ収集業務（家庭ごみ（可燃、不燃）、資源物及び側溝清掃後の土砂）の委託とその管理を収集計画に基づき正確で確実に行う。

指標名	内部管理業務のため指標の設定が困難である。				
算式					単位
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度 目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度 目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度 目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成25年度 決 算	平成26年度 予 算
事業費		78,119	82,241
特定 財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		78,119	82,241
人員数 (人)	正規職員	0.5	0.5
	嘱託職員	0.2	0.2
	臨時職員	0.0	0.0
人員 コスト	正規職員	3,429.0	3,429.0
	嘱託職員	545.0	545.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	3,974.0	3,974.0
市民一人当たりの経費		1.6	1.6
総額		82,093.0	86,215.0

(単位：千円)

平成25年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	30	消耗品費枠配分30
13節 委託費	78,075	可燃ごみ等収集委託料64,512、不燃ごみ等収集委託料4,158、粗大ごみ収集委託料2,288、側溝清掃土砂収集委託料2,688 外4件
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	14	会議等出席負担金14
その他	0	

(単位：千円)

平成26年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	233	消耗品枠配分233
13節 委託費	82,000	可燃ごみ等収集委託料67,418、不燃ごみ等収集委託料4,303、粗大ごみ収集委託料2,981、側溝清掃土砂収集委託料3,542 外4件
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	8	会議等出席負担金8
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	安全で衛生的な市民生活を確保する上で必要不可欠な業務として、迅速かつ適正で計画的な収集が実施できた。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	収集計画を作成し、計画通りの収集が行われたことで、市民生活の安定が図れた。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや向上
評価コメント	ごみの分別の徹底や、リサイクルを拡充することによりごみの減量につながった。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

公正でかつ迅速なごみの収集が行われた。ごみ収集は、市民生活の安定を図る上でも重要な事業であり、今後も迅速かつ適正で計画的なごみ収集が行われるよう事業を進めたい。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
ごみ・資源物の分別の徹底を更に図ると共に、迅速かつ適正な収集事業の継続を行い、環境保全並びに市民サービスの向上に努めたい。		安全で衛生的な市民生活を維持するための基盤事業。本事業は広域ごみ処理移行後も市の責任で継続が必要な業務であり、确实で、安定的、合理的な事業運営を続ける必要がある。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	